

\*\*\*\*\*  
本メールは日本臨床検査専門医会の電子メール新聞 JACLaP WIRE No.80 です。  
\*\*\*\*\*

===== 目次 =====

【事務局からのお知らせ】

会員動向(2005年2月28日現在数683名, 専門医489名)

【教育セミナー・GLM教育セミナーのお知らせ】

【春季大会のお知らせ】

【総会のお知らせ】

【今年度会費振り込みのお願い】

【WHOトピックス】

【1】WHOのたばこ規制枠組み条約に世界57か国が参加

<Press February 2005 WHO-182>

【MTJ(The Medical & Test Journal)2月1日号から】

【MTJ(The Medical & Test Journal)2月11日号から】

【MTJ(The Medical & Test Journal)2月21日号から】

-----  
===== JACLaP WIRE =====

【事務局からのお知らせ】

会員動向(2005年2月28日現在数683名, 専門医489名)

【新入会員】

浅井さとみ 先生 : 東海大学医学部臨床検査医学  
松山文夫 先生 : 株式会社メディック  
神尾多喜浩 先生 : 済生会熊本病院中央検査センター  
大城 久 先生 : 横浜市立大学医学部附属病院 病理部  
吉田 博 先生 : 東京慈恵会医科大学附属柏病院 内科総合診療部・中央検査部  
斉藤仁昭 先生 : 山形大学医学部発達生体防御学講座 病理病態学分野  
増本純也 先生 : 信州大学医学部附属病院臨床検査部  
藤井丈士 先生 : 国立国際医療センター臨床検査部

【所属・その他変更】

菅野 勇 先生 : 旧 帝京大学市原病院検査部  
                  新 千葉県済生会習志野病院検査部  
橋本佳明 先生 : 旧 三菱診療所  
                  新 上尾中央総合病院生活習慣病センター  
沖野 毅 先生 : 旧 大阪警察病院臨床病理科  
                  新 大阪船員保険病院 病理検査科  
福江英尚 先生 : 旧 東京医科大学霞ヶ浦病院中央検査部  
                  新 小原病院 内科  
北本康則 先生 : 旧 熊本大学医学部内科・中検  
                  新 仙台社会保険病院総合診療科・検査部  
山住俊晃 先生 : 旧 近畿大学医学部臨床検査医学  
                  新 医療法人 育和会  
安東由喜雄先生 : 旧 熊本大学医学部臨床検査医学  
                  新 熊本大学医学薬学研究部病態情報解析学

【退会会員】

三宅 宏 先生：株式会社メディック

松本 孟 先生：まつもと小児科

振興会会員

(株)第一ラジオアイソトープ研究所

-----

===== JACLaP WIRE =====

【教育セミナー・GLM教育セミナーのお知らせ】

本年度の教育セミナー申し込みは2月19日に締め切りました。

今年も多数の先生方からの申し込みがあり、開催施設での準備が進められています。参加される先生方には開催施設から集合場所、時間、準備するものなどの通知がありますのでお待ち下さい。

-----

===== JACLaP WIRE =====

【春季大会のお知らせ】

関西医科大学の高橋伯夫教授のお世話で以下のようなスケジュールで開催されます。多数の会員のご参集をお願いいたします。

会 期：平成 17 年 4 月 9 日（土曜日）

会 場：大阪市中央公会堂（中之島）大会議室（B1F）

大会長：高橋伯夫（関西医科大学 臨床検査医学）

午前 9 時 55 分

開会の辞

大会長 高橋伯夫

午前 10 時～午後 0 時

ミニ・レビュー

最新の医療を支える臨床検査

（15 分間の講演と 5 分間の討論 計 20 分）

臨床検査専門医が考える、臨床検査を用いた理想的な診療の在り方について  
～最近のトピックについて～

司会：一山 智（京都大学医学部臨床病態検査学）

荻原順一（秋田大学医学部臨床検査医学）

第 1 章 循環器系疾患（宮島栄治、横浜市立大学医学部臨床検査医学）

第 2 章 血液疾患（通山 薫、川崎医科大学検査診断学）

第 3 章 呼吸器疾患（諏訪部 章、岩手医科大学医学部臨床検査医学）

第 4 章 消化器疾患（小出典男、岡山大学医歯学総合研究科生体情報医学）

第 5 章 腎疾患（吉田治義、福井大学医学部検査医学）

第 6 章 膠原病（熊谷俊一、神戸大学大学院医学系研究科生体情報医学講座）

午後 0 時～1 時

全国幹事会 場所：第 4 会議室（B1F）

午後 0 時～1 時 昼食

ランチョンセミナー

（一人 8～10 分の講演終了後、最後に残り時間 30 分弱で討論）

臨床検査専門医制度の在り方

今後、臨床検査医学の発展のために如何にして専門医を育てるか？

～セミナー、専門医試験の在り方～

司会 渡辺清明（慶應義塾大学医学部中央臨床検査部）  
福武勝幸（東京医科大学臨床検査医学）

1. 玉井誠一（防衛医科大学校検査部）
2. 高木 康（昭和大学医学部臨床病理学教室）
3. 熊坂一成（日本大学医学部臨床検査医学）

午後 1 時～1 時 20 分

総会

午後 1 時 20 分～2 時

特別講演

司会 関西医科大学 臨床検査医学 高橋伯夫  
「病院を直すには」  
医療法人 医誠会 理事長 谷 幸治

午後 2 時～5 時

パネル・ディスカッション

これからの医療供給体制における臨床検査専門医の役割  
（5 分間の講演の後に討論）

司会 佐守友博（日本医学臨床検査研究所） 朝山 均（市立岸和田市民病院）

1. 松尾収二（天理よろづ相談所病院臨床病理部）
2. 河村俊郎（和光純薬工業（株） 常務取締役）
3. 森嶋祥之（近畿大学医学部附属病院中央臨床検査部  
大阪府臨床検査技師会 会長）
4. 立脇憲一（滋賀医科大学附属病院検査部/近畿臨床検査技師会 会長）
5. 土屋達行（日本大学医学部臨床検査医学教室）
6. 坂野弘太郎（デイド ベーリング（株） 社長）
7. 小沼利光（東京都済生会向島病院/日本臨床衛生検査技師会 副会長）

午後 5 時～5 時 5 分

次期大会長挨拶

村上正巳（群馬大学医学部臨床検査医学）

午後 5 時 5 分～5 時 10 分

閉会の辞

森 三樹雄（日本臨床検査専門医会 会長）

午後 5 時半～7 時半

懇親会 場所：中之島倶楽部（B1F）

===== JACLaP WIRE =====

【総会のお知らせ】

春季大会の開催に合わせて、本年度第一回総会を開催いたします。

日時：平成 17 年 4 月 9 日、午後 1 時～1 時 20 分

会場：大阪市中央公会堂（中之島）大会議室（B1F）

議題

1. 本年度活動報告
2. 平成 16 年度決算報告・承認

### 3. 会則の一部改訂

第7章 総則、第2条 本会の事務所は会長の指定する施設におく。

これを事務所新設に伴い

本会の事務所は東京都千代田区神田駿河台 2-1-19 アルベルゴ御茶ノ水 505 号室におく。

と改訂する案。

### 4. その他

総会開催と、出欠の通知のはがきをお届けします。

もし、欠席されるときには委任状をお願いいたします。

===== JACLaP WIRE =====

#### 【今年度会費振り込みのお願い】

今年度会費の振り込みをお願いいたします。

会費の振り込み用紙には、すでに先生のお名前が記入されていますので、所属、住所、E-mail address の変更がありましたら通信欄に記入をお願い致します。

===== JACLaP WIRE =====

#### 【WHO トピックス-1】WHO のたばこ規制枠組み条約に世界 57 かが参加

<Press February 2005 WHO-182>

喫煙による健康被害防止のため、たばこの消費削減を目指す「たばこ規制枠組み条約」が 2005 年 2 月 27 日に発効した。条約に参加している 57 か国には 23 億人が生活している。WHO によると、喫煙は世界 2 番目の死亡原因で、喫煙が原因とみられる死亡者は世界で年間 500 万人にのぼる。現在、喫煙者は世界で 13 億人おり、そのうち半分の 6 億 5000 万人が喫煙による病気で死亡している。このまま放置すれば、喫煙が原因で死亡する人が 2025 年には現在の約 2 倍の 1000 万人になるという。喫煙によってほぼ全身の臓器が傷害されるが、特に肺がん、子宮頸がん、腎臓がん、心臓発作、脳卒中、冠状動脈疾患、気管支炎、喘息、不妊症などにかかりやすくなる。今回は、WHO で策定した公衆衛生に関する初の国際条約で、広告の原則禁止や、包装の 30% 以上を警告表示などという規制を盛り込んでいる。日本も 3 年～5 年以内に国内の関連法整備などを迫られている。中国、米国など「たばこ消費大国」は条約に調印したものの、批准していない。2006 年 2 月に開く第 1 回締約国会議で、事務局設置や条約履行の監視体制などを決める。

(獨協医科大学越谷病院臨床検査部 森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

#### 【MTJ (The Medical & Test Journal) 2 月 1 日号から】

東京都済生会中央病院など 検査室の原価計算ソフトの開発に着手

日赤医療センター検査部、東京都済生会中央病院臨床検査科、三井記念病院中央検査部は、病院検査室対応型の原価計算ソフトの共同開発に着手した。東京都済生会中央病院臨床検査科の高加国夫科長は、「出来高払い方式から包括払い方式への転換期を迎え、診療報酬で積み上げる経営は終焉(しゅうえん)を迎えている。今後は、一定の報酬の下でコスト削減をいかに図れるかが鍵になる」として、病院検査科が使用可能な原価計算ソフトの検討を始めたという。

## 日臨技 個人情報保護法の施行に向けガイドラインを策定へ

日本臨床衛生検査技師会（小崎繁昭会長）は、4月の個人情報保護法の施行に向け今年度末までに会員向けに検査室関連の個人情報保護に関するガイドラインを策定する方針を決めた。同ガイドライン案については、まとめ次第、会員へ広報する予定だ。

## 長崎大学病院 1月から「医療技術部」を立ち上げ

長崎大学医学部・歯学部附属病院（869床、澄川耕二病院長）は、1月から「医療技術部」（今泉美治部長：放射線部技師長兼務）を新設、1月28日に開設記念式典を開催した。医療技術部は、国立大学病院で設置が進む、いわゆる診療支援部に当たる。実際に医療技術部に所属する部門は、臨床検査部門をはじめ、放射線部門、臨床工学部門、言語聴覚部門、理学・作業療法部門、歯科技工士・衛生士部門で、総勢110人のスタッフで構成される。

## SRL SRL東京メディカルとSBSを吸収合併へ

エスアールエル（SRL）は1月17日開催の取締役会で、4月1日にエスアールエル東京メディカル、SBSと合併する契約書を25日に調印することを決議した。合併は、将来的企業価値を高め、医療提供体制の効率化からくる医療環境の変化に対応し、より顧客に貢献するために、グループの総力を結集することが必要と判断したため。

## 【MTJ（The Medical & Test Journal）2月11日号から】

### 厚生省 病院における病理検査と遺伝子検査の受託で規制緩和

厚生労働省医政局総務課は2月4日、専門性の高い病理学的検査と遺伝子検査の2分野について、病院が他の病院等から継続的に検査受託できる要件緩和（案）を盛り込んだパブリックコメントの募集を開始した。これに対して日本病理学会の坂本穆彦副理事長（杏林大学病理学講座教授）は、要件緩和案の中に「専門性の高い検体検査業務に係わる施設、設備について、当該業務の受託を目的として設置し、または使用することは認められない」との留意事項が盛り込まれたことで、「病院が病理検査について地域の医療機関と多角的運営を図ることを規制した骨抜き要件緩和案になっている」と指摘し、病院病理部にとって規制緩和につながらない可能性があるとの見解を示した。

### 外保連 手術、生体検査、処置の3報酬試案を改訂へ

外科系学会社会保険委員会連合（外保連、会長＝出月康夫東大名誉教授）の2005年度第1回総会がこのほど、東京都内で開かれ、次回（06年度）診療報酬改定に向け手術報酬、生体検査報酬、処置報酬に関する外保連3試案の改訂版を4月までに完成させる方針を明らかにした。

### 厚生省通知 院内感染頻発で消毒徹底、対策委設置を

院内感染が各地で後を絶たず、この冬は高齢者施設や病院でノロウイルスなどの感染性胃腸炎の集団発症が相次いでいることから、厚生労働省はこのほど、防止策を徹底させるよう全国の自治体に通知した。院内感染防止を求めた1991年の旧厚生省通知を、最近の知見に基づいて更新した内容。

近畿検査技師会 「チーム医療推進委員会」を2005年度からスタート

近畿臨床衛生検査技師会（立脇憲一会長、滋賀医大病院）は、2005年度（05年6月～06年5月）の新規事業として、検査技師のチーム医療への参画を推進するため、「チーム医療推進委員会」を立ち上げる。委員長は近臨技副会長の森嶋祥之氏（近畿大病院）、副委員長は近臨技理事の山本慶和氏（天理よろづ相談所病院）が担当する。

【MTJ（The Medical & Test Journal）2月21日号から】

日本静脈経腸栄養学会 NST専門療法士の認定対象に臨床検査技師を追加

日本静脈経腸栄養学会の理事会・評議員会が2月16日、名古屋市で開かれ、NST（栄養サポートチーム）専門療法士の新たな認定職種に看護師と臨床検査技師を追加することを決めた。これにより認定NST専門療法士の対象職種は、管理栄養士、薬剤師、看護師、臨床検査技師の4職種になる。

日本臨床神経生理学会 認定医・認定技術師制度を実施へ

日本臨床神経生理学会は2006年から「認定医制度」「認定技術師制度」を実施する。昨年11月の総会で認定制度が承認された。同学会では、臨床神経生理検査および研究について、質の保証と水準の向上を図るとともに、同学会の活性化を目指すことを目的としている。両制度ともに脳波分野と筋電図・神経伝導分野に分け、書類審査と試験によって認定を行う。

厚生省 簡易血糖測定器等使用での安全対策で通知

簡易血糖自己測定器や自己血糖検査用グルコースキット（グルコース脱水素酵素法のうち補酵素としてピロロキノリンキノンを使用するもの）の使用方法が適切でないため、低血糖を引き起こした事例が複数報告され、厚生労働省医薬食品局安全対策課は2月7日、これらの簡易血糖測定器や検査用キットの添付文書に、「原則として患者自身が自宅等で血糖を測定する場合に使用すること」と追記するよう指示した。

=====

JACLaP WIRE, No. 80 (2005年3月4日発刊)

発行：日本臨床検査専門医会 [情報・出版委員会]

編集：JACLaP WIRE 編集室 編集主幹：満田年宏

TEL:045-787-2721・FAX:045-786-0392

本WIREの記事購読(配信・停止)・広告等に関するお問い合わせ先：

E-mail：uys-com@umin.ac.jp

日本臨床検査専門医会事務局（入会・退会）に関するお問い合わせ先：

E-mail：senmon-i@jaclp.org

日本臨床検査専門医会ホームページ

<http://www.jaclap.org/>

JACLaP WIRE バックナンバー：

<http://www.jaclap.org/wire/index.html#TOP>

-----  
\*\*\*\*\*

会員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

\*\*\*\*\*

メーリングリスト配信先の変更には

1.氏名，2.現行登録アドレスと3.変更希望メールアドレスを添えて

uys-com@umin.ac.jp まで「配信先の変更希望」としてお送り下さい。

\*\*\*\*\*